

Mizuho Daily Market Report

2024/9/6

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	143.67	143.45	▲0.29	▲1.54
EUR	1.1085	1.1111	+0.0029	+0.0034
AUD	0.6718	0.6741	+0.0016	▲0.0057
SGD	1.3026	1.3001	▲0.0037	▲0.0030
CNY	7.1014	7.0887	▲0.0243	▲0.0083
MYR	4.3366	4.3380	▲0.0153	+0.0270
THB	33.71	33.67	▲0.56	▲0.27
IDR	15419	15398	▲77	▲17
PHP	56.24	56.23	▲0.36	▲0.06
INR	83.98	83.98	+0.01	+0.11
VND	24757	24743	▲122	▲137

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	3.727%	▲2.8 bp	▲13.5 bp
日本(10年)	0.880%	▲0.4 bp	▲1.9 bp
ユーロ圏(10年)	2.208%	▲1.6 bp	▲6.6 bp
オーストラリア(5年)	3.564%	▲3.2 bp	▲2.9 bp
シンガポール(5年)	2.462%	▲4.0 bp	▲8.3 bp
中国(5年)	1.771%	▲0.3 bp	▲8.8 bp
マレーシア(5年)	3.493%	▲2.6 bp	+0.0 bp
タイ(5年)	2.287%	+0.1 bp	+0.5 bp
インドネシア(5年)	6.535%	▲3.6 bp	+1.6 bp
フィリピン(5年)	5.939%	▲1.7 bp	▲0.2 bp
インド(5年)	6.759%	▲0.5 bp	▲1.9 bp
ベトナム(5年)	2.100%	+1.0 bp	+1.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	40,755.75	▲0.5%	▲1.4%
N225(日本)	36,657.09	▲1.1%	▲4.4%
STOXX50(ユーロ圏)	4,815.15	▲0.7%	▲3.0%
ASX(オーストラリア)	4,503.76	▲0.3%	▲1.6%
FTSE(シンガポール)	3,458.66	+0.5%	+1.6%
SSEC(中国)	2,788.31	+0.1%	▲1.2%
SENSEX(インド)	82,201.16	▲0.2%	+0.1%
JKSE(インドネシア)	7,681.04	+0.1%	+0.7%
KLSE(マレーシア)	1,664.82	▲0.3%	+0.7%
PSE(フィリピン)	6,907.97	+0.4%	+0.2%
SETI(タイ)	1,404.28	+2.8%	+3.5%
VNINDEX(ベトナム)	1,268.21	▲0.6%	▲1.0%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	271.27	+0.4%	▲3.1%
金	2,516.76	+0.8%	▲0.2%
原油(WTI)	69.15	▲0.1%	▲8.9%
銅	8,978.71	+1.6%	▲1.6%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	142.60	-	144.80
EUR/USD	1.0930	-	1.1250
AUD/USD	0.6685	-	0.6850
USD/SGD	1.2960	-	1.3180
USD/CNY	7.0860	-	7.1190
USD/INR	4.3000	-	4.3930
USD/THB	33.30	-	34.15
USD/IDR	15350	-	15750
USD/PHP	55.90	-	57.00
USD/INR	83.00	-	84.10
USD/VND	24,100	-	25,500

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel. 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は143円台前半でオープン。仲値にかけて五・十日の実需のドル買いに144円手前まで上昇。ドル買い一巡後、日本株が下落幅を拡大させる動きを横目に143円ちょうどレベルまで下落、同水準で海外時間に渡った。アジア通貨は引き続き堅調な動き。中でもタイバーツは、タイ新内閣の閣僚名簿が発表され市場に安心感を与えたことを背景に、一時は2023年5月以来の高値につけ前日比では1.7%の上昇となるなど顕著な上昇を見せた。

NY時間のドル円は143円台半ばでオープン。朝方に発表された米8月ADP雇用統計や、米第2四半期単位人件費(確報値)が予想を下回り、市場はドル売りで反応し、142円台後半まで下落。しかし、続いて発表された米8月ISM非製造業景況指数が予想を上回ると、一転買い戻しが優勢となり、144円台前半まで反発。しかしそれ以上の上値追いは限定的で、その後143円台半ばに反落。午後は米長期金利が低水準で推移する展開に追随し143円台前半まで続落した後、小幅に戻し143円台半ばでクローズした。

【金利】

昨日の米10年債利回りは低下。アジア時間から欧州時間にかけて小幅な値動きを続けた後、NY時間朝の米8月ADP雇用統計を受け短期主導で金利低下。ただしその後発表された堅調な失業保険受給者数や明日の雇用統計を控え売りが入り反発したものの、結局NY午後には再度金利低下の流れとなり前日比▲2.8bpでクローズした。

【予想】

本日のドル円は雇用統計結果待ちのため上値の重い推移を予想。昨日の米8月ADP雇用統計は5カ月連続で減速、直近はJOLT(米求人労働異動調査)も弱かったこともあり、足元相応にポジション調整が進んできたとみられる。しかし今晚の雇用統計で、前月指摘された季節性要因の揺り戻し等加味しても弱い新規雇用者数や、失業率の一段の悪化が確認された場合には再来週に控える9月FOMCでの50bp利下げへの期待感が高まり、ドル売りを誘因するだろう。

【本日の予定】

(日本) 7月 家計支出
(日本) 7月 景気動向指数(速)
(アジア) 7月 フィリピン 失業率
(アジア) 7月 豪 住宅ローン額 / 持家住宅ローン
(アジア) 7月 韓国 国際収支:貿易収支
(アジア) 8月 インドネシア 外貨準備高
(アジア) 8月 フィリピン 外貨準備高
(アジア) 8月 ベトナム 国内自動車販売台数
(アジア) 8月 豪 外貨準備高
(欧州) 2Q ユーロ圏 GDP(確)
(欧州) 7月 仏 経常収支 / 貿易収支
(欧州) 7月 仏 鉱工業生産 / 製造業生産
(欧州) 7月 伊 小売売上高
(欧州) 7月 独 貿易収支
(欧州) 7月 独 鉱工業生産
(米国) 8月 失業率 予想:4.2% 前回:4.3%
(米国) 8月 平均時給 予想: 前回:0.2%
(米国) 8月 非農業部門雇用者数変化
(米国) 予想: 155k 前回: 114k

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、現実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行にあり、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。